

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立難波支援学校
校長名	室田 澄江

開催日時	令和 6年3月11日(月) 13:30~14:25
開催場所	難波支援学校 校長室
出席者(委員)	高知 会長、中島 副会長 谷口 委員、辻 委員、鈴木 委員、藪根 委員
出席者(学校)	校長、教頭2名、首席1名、
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度 学校評価 他

議題等(次第順)

- 令和5年度 学校評価について
- 令和6年度 学校経営計画について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

○令和5年度学校評価について学校長から概要説明を行った後、質疑に入った。
 主な意見は以下のとおり。

- ・難波支援学校は学校間交流についてもしっかり進めていると感じた。これからもこれまでと同様に進めていただければ。地域交流においても積極的に障がい理解を進めていただけているのはすごくありがたい。
- ・障がい理解を進める取組みは今後とも大事になってくる。それを難波支援が行ってくれることで、各校とてもありがたいと感じていると思う。支援学校の個性を活かしたとてもよい1年だったかと思う。
- ・卒業式に参加させていただいて、先生方の動きに感動した。子どもたちを本当によく見ておられ、即座に動くことができるというところに感動とともに、普段からそのように動いておられることが伝わってきた。中学部の交流なども、中学校の生徒たちが楽しそうにしている姿がめだち、やはり支援学校はいろいろな部分に安心できるそういう学校づくりをされていると感じた。これからも支援学校の良さを伝えていきたい。
- ・(アンケート結果から)例えばなんば祭など、先生方の評価とかでも数値ではなかなか反映されないのかなと思う。来年度はむしろ目標数値を下げてもいいのではと思うくらい、実質的にはもっと成果が上がってるんじゃないかなと感じる。難波は学習生活を発表するなど、他の支援学校よりも先んじてるところも多い。そのような学校全体の取組みを今後も進めていってほしい。45分会議など、働き方についてもいろいろな取組みがなされているが、共通理解するには時間が足りない場合もあるのは当たり前のこと。何が何でもではなく、柔軟に時間をかけるところとかけないところにメリハリがつけばいいのではないか。
- ・全体的に見させていただいて、本当に1年間いろいろなことに取り組まれているなど感じた。専門性の向上ということ言えば、経験の浅い先生方と深い先生方で必要な研修も違うのかなと思うので、そのあたり世代別に分けてみるのもいいのかなと感じた。PTAの活動は久しぶりに夏祭りにたくさんの家庭に参加いただけ、みんなで楽しめたかと思う。通学区域が変更になり、次年度はPTAの活動にも新しい方が入られる。難波のことを知らない保護者も多いので、学校側でもぜひサポートしてほしいと思う。ICTの活用が身近になってきた。卒業式でも式があとどれくらいで終わるかが視覚的にわかるようにするなど、そのような活動は子どもたちだけでなく、保護者の安心感にも繋がったと思う。

○令和6年度学校運営計画について学校長、首席教員から概要説明を行った後、質疑に入った。
 主な意見は以下のとおり。

- ・なんば祭などいろいろな行事や取組みもたいが工夫されていると思う。これから合理的配慮という言葉がどんどん広がっていくはずだが、まだまだのところもあって必要な支援であることを伝えていただければと思う。
- ・平成5年度から6年度引き続きということで今年のいいところを伸ばしつつ行っていただければと思う。計画と実施についてはどうしてもギャップが出てくる。このギャップをどれだけ少なくできるかが大切。そのためには緻密な計画が必要になってくる。そのような視点で進めていただくと難波支援学校の良さがより出てくると思う。
- ・運動会については5月の末に開催となると、新しく入ってくる子どもたちの特性をいち早くつかむ必要があり、たいへんかと思うが先生方の情報共有をしっかりとしながら、事故のない運動会になることを願っている。防災については、新年早々大地震があり、報道を見ていると障がい者の居場所は？ちょっとほったらかしにされてるんじゃないかを感じる。子どもの引渡しなどは今までよくやってきたが、こういうところにも避難ができますよといったような情報も保護者は求めているのでは？と感じている。

次回の会議日程

日時	令和7年6月下旬~7月上旬
会場	難波支援学校 校長室